

平成23年度事業報告

当協会は、松山市および愛媛県が有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行うことにより、松山市の観光・物産振興とコンベンションの振興を図り、国際的な相互理解の増進、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的として活動をしております。

平成23年度においては、12月で第3部放映終了となったスペシャルドラマ「坂の上の雲」と、同じく平成24年1月で終了となった明治体感まつやま博「スペシャルドラマ館」により、人々の関心が薄れることのないように、県内外の様々な方面に観光情報を発信してまいりましたが、3月11日に起こった東日本大震災の影響により、年度当初においては観光客が激減し、またコンベンション開催も中止になったものがあったことから、昨年度よりも実数が減少することとなりました。

そのような厳しい状況においても、新たな観光資源の発掘およびPRとして、松山の「祭り」を取り上げ、松山の神輿を集めた「大神輿総練」に協力したほか、観光客の受け入れ体制の充実を図るために、「観光ボランティアガイド」による観光案内業務回数を増やし、ソフト面の強化を行うことで誘客に務めました。

またハード面においては、協会のホームページをリニューアルし、より親しみやすく見やすいホームページ作りに努めるとともに、こまめな更新による情報提供を行い、訪れる方に対する最新の情報提供に務めました。

物産面におきましては、既存の物産展やインターネットにおけるショッピングサイトを通じて松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店MAPの作成など、全国に向けて情報発信の拡大を図りました。

コンベンション事業におきましては、「地元誘致懇談会」を開催し、地元コンベンション主催者と賛助会員との情報交流の場を設け、松山でのコンベンション開催の増加に務めたほか、県外への誘致活動においては、ターゲットを絞り、より効率的な誘致および情報提供を行いました。さらに、キーパーソンを招聘するなど、都市間競争に負けないように活動の充実を図りました。

また国際交流事業として、高松と連携して南京・上海教育旅行誘致に務めたほか、広島と連携して韓国インバウンド誘致事業を実施、さらに台湾においては観光キャンペーン及び物産PR事業を開催したほか、台湾のテレビ局の協力により、旅番組やドラマ撮影を実施するなど、海外からの誘客に努めました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

1. 観光振興事業

(1) 「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

旅行会社が松山市へ観光客を送客する団体及び個人・小人数向けの旅行商品を企画し、新たなパンフレット等を作成して販売促進活動や販売を行う場合、その経費の一部を助成する。(業種 50 音順)

- ①石崎汽船(株)、②宇和島運輸(株)
- ③近畿日本ツーリスト(株)中国四国メイトセンター
- ④近畿日本ツーリスト(株)北陸メイトセンター
- ⑤(株)ジェイアール東海ツアーズ 国内旅行部
- ⑥(株)ジェイティービー 西日本国内商品事業部中国四国商品企画販売部
- ⑦(株)ジェイティービー 東日本国内商品事業部、⑧瀬戸内海クルーズ(株)
- ⑨トップツアー(株)関西国内旅行センター、⑩トップツアー(株)九州国内旅行センター
- ⑪トップツアー(株)中四国国内旅行センター、⑫西鉄旅行(株)
- ⑬(株)日本旅行赤い風船西日本事業部、⑭(株)日本旅行赤い風船西日本事業部広島企画センター
- ⑮(株)日本旅行四国仕入販売センター、⑯(株)農協観光愛媛支店、⑰(株)アジトラベルサービス (17 業者)

販売店舗数 延べ 19,052 店／印刷部数 1,799,500 部

[参考]

平成 21 年度送客実績	78,393 名
平成 22 年度送客実績	49,287 名



(2) ホームページ及び電子パンフレット運營業務 (リニューアル)

[参考] ユーザー訪問 (ページビュー) 数 約 666,833 件

なもちゃん紹介



(3) 松山マドンナ大使関連事業

2011 年 松山マドンナ大使委嘱式

(松山マドンナ大使 2011)

期 日 平成 23 年 4 月 1 日 (金)
場 所 (財)松山観光コンベンション協会
事務局
派遣件数 49 件

2012 年 松山マドンナ大使選考会

期 日 平成 23 年 12 月 17 日 (土)
応募者 52 名
場 所 松山市総合コミュニティセンター



(4) 宣伝広告（新聞・テレビ・雑誌・車輦等によるPR）

- ア 伊予鉄道市内電車（低床電車）10 車両映像システム（30 秒観光CM）
- イ 週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外
- ウ 愛媛FC及び愛媛マダリンパイレーツの試合会場への広告掲載
- エ 愛媛マラソン手荷物預り袋広告制作

(5) パンフレット作成及び書籍作成事業

- ア 指差観光案内パンフレット（韓国語版） 10,000 枚
- イ 指差観光案内パンフレット（簡体字版） 10,000 枚
- ウ 松山城 1,000 冊
- エ 瀬戸のまつやま「海ごはん」MAP 10,000 枚



(6) 松山 DAY in 神宮球場観光キャンペーン（主催事業）

- 期 日 平成 23 年 6 月 3 日（金）
- 場 所 神宮球場
- 内 容 カラービジョンによる PR（試合開始前、2 回裏終了、4 回裏終了、7 回表終了）のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市長による始球式、特産品の配布（先着 1,000 名）愛郷会会員の観戦、新聞・テレビによる宣伝



（花束贈呈）



（記念品贈呈）



（電光掲示板PR）

(7) 松山城東雲口ロープウェイ駅舎壁面広告

- 広告開始日 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- 広告掲載業者 10 業者

(8) 松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

- 広告開始日 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- 広告掲載業者 8 業者

(9) (財) 松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

- 広告開始日 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- 広告掲載業者 22 業者

(10) 大神輿総練

期 日 平成 23 年 10 月 2 日(日)
場 所 松山市堀之内公園
内 容 第一期整備の終了した城山公園（堀之内地区）において、市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にPRし、松山の魅力を発信する事業に協力した。
今回は、宇和島の「牛鬼」や松山～沖縄の飛行機路線が復活したことから「琉球太鼓」の演奏、また名古屋の「おもてなし武将隊」による演武なども披露され、一層盛り上がったものになった。

参加神輿 24体



(11) 台湾・台北市観光キャンペーン

期 日 平成 23 年 11 月 3 日(木)～7 日 (月)
場 所 新北投温泉駅前広場
内 容 台湾建国 100 年にあたる今回は、第 10 回台北市新北投温泉まつりに参加。台湾交通局、台北市長、松山市長、愛媛県知事の立会のもと、道後温泉旅館協同組合と台北市温泉発展協会による友好調印を実施し、今後の相互交流を誓った。
また道後の神輿を持って行き、180 人のかき手により現地で鉢合わせを行うとともに、訪れた人々と写真を撮るなどの交流を図り、4 日はロープ巻、5、6 日は 2 回ずつ鉢合わせを実施し訪れた 4 万人の観客を魅了した。地元のマスコミ等も多数取材に訪れており、テレビや新聞等でもトップニュースで報道された。



(調印式)



(鉢合わせ)



(新聞)

(12) 「おいでんか松山」国際交流に伴う団体旅行者支援事業

松山を訪れる海外からの旅行者に対して、坊っちゃん列車の切符や記念グッズなどを支援。
 支援団体：日韓高校生写真交流の集い、台湾女子野球チーム、西瀬戸内海周遊誘客促進事業、
 韓国インセンティブ旅行誘致促進事業等

2. 受入事業

(1) 案内所業務

- ア 松山城東雲口駅舎 1 階案内所
- イ 道後観光案内所 (委託業務)
- ウ JR 松山駅松山市観光案内所 (委託業務)
- エ 松山観光港ターミナル観光案内所 (委託業務)



観光案内業務	件数	81,468	件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件数	1,121	件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎1階)	件数	595	件
文化図書の販売	販売数	1,961	冊
観光記念メダル販売	販売数	9,114	個
足湯ハンドタオル販売	販売数	791	枚
記念バッジ販売	販売数	83	個
名刺台紙販売	販売数	521	個
松山城ハンドタオル販売	販売数	29	枚
紙袋販売	販売数	2	枚
オリジナルキャップ販売	販売数	15	個
ようおいでたなもし	販売数	5	冊
(株)ポニーキャニオンDVD・ブルーレイ「坂の上の雲」販売	販売数	7	枚
佐川印刷(株)絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	100	冊
佐川印刷(株)自動販売機(絵はがき・ガチャポン)販売	販売数	921	冊
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	11	冊
(株)エス・ピー・シー書籍販売	販売数	65	冊
(株)エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	2,233	個
松山はいく 一筆箋販売	販売数	178	冊

(2) 観光ボランティアガイド事業

1. 案内コース	道後周辺	松山城	坂の上の雲ミュージアム周辺
2. 案内日	毎日(年末年始除く)	毎日(年末年始除く)	毎日(年末年始除く)
3. 案内時間	9:30~12:00	9:00~12:00	9:30~12:30
	13:30~16:00(土日祝のみ)	13:00~16:00	13:00~16:00
4. ガイド人数	平日 2名	平日 4名	平日 2名
	土日祝 4名	土日祝 10名	土日祝 2名
5. 登録人数	188名		
6. 案内件数	1,501件	3,913件	859件
7. 案内人員	4,372人	13,285人	2,136件

(3) ふるさとふれあい塾 ～松山観光文化コンシェルジュ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・(社)愛媛県観光協会・松山市
(財)松山観光コンベンション協会
開講期間 平成23年9月21日(水)～平成23年12月14日(水) (全15回)
場 所 松山大学 (松山市文京町4-2)
受 講 者 一般 94名・大学生 56名 計150名

3. 物産事業

(1) 松山の物産と観光展

ア 松山愛郷会物産展

期 日 平成23年10月13日(木)
場 所 東京都(都市センターホテル)
内 容 愛郷会会員に対する物産品の預かり販売

イ 台北市物産PR事業

期 日 平成23年11月4日(金)～7日(月)
場 所 新北投温泉駅裏通路 特設ブース
内 容 台湾建国100年にあたる今回は、第10回台北市新北投温泉まつりに参加。

松山のブースを出展し、松山の銘菓、坊っちゃん団子、タルトなどを販売したほか、松山のオリジナル記念グッズやタオル等を販売し、大変好評を得た。売上金は台北温泉まつりに寄付をして帰った。



(グッズ販売)



(会場内様子)



(映像によるPR)

ウ 松山の物産と観光展

期 日 平成24年2月23日(木)～2月29日(水)
場 所 札幌市(さっぽろ東急百貨店)
内 容 表敬訪問(札幌市、札幌市市政記者クラブ)
訪問宣伝(札幌市内の旅行会社5社)
新聞・雑誌等による宣伝、テレビスポットによる宣伝、テレビ出演による宣伝
全35業者、約450品目の展示、実演即売、茶屋の開設
スペシャルドラマ「坂の上の雲」紹介コーナー
「坂の上の雲ミュージアム」パネル展、「四国八十八ヶ所霊場」パネル展、観光パナーの設置、観光俳句ポストや各店舗にゆかりの子規俳

句バナーの設置、観光案内コーナーの開設、観光ポスターの掲示、松山マドンナ大使の派遣、街頭宣伝



(開展式)



(せとか配布)



(会場内風景)

エ 第4回道後温泉卓球大会ミニ物産展

期 日 平成24年2月21日(火)～23日(木)

場 所 松山市総合コミュニティセンター

(2) 物産陳列による宣伝紹介

JR松山駅待合室、松山城ロープウェイ駅舎内の物産陳列所における展示の充実に努め、市民をはじめ観光客に対し広く特産品、工芸品の宣伝紹介に努めた。

(3) 松山特産品ショッピングサイト運営

ホームページ掲載企業 18社

出品数 50品 注文件数 9件



4. コンベンション事業

(1) 誘致・支援事業

ア 国内誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面への誘致宣伝活動を実施した。

また、誘致専門職員や民間から受け入れた職員により、松山市内にある地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。(別紙資料3)

首都圏：45団体

県内：70団体

イ 第21回国際ミーティング・エキスポ(IME2011)の参加[出展]

会 期 平成23年12月14日(水)～15日(木)

会 場 東京国際フォーラム(東京都有楽町)

主 催 観光庁、日本政府観光局(JNTO)

日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)

概 要 コンベンション主催者とコンベンション受入側(都市・コンベンションビューロー等関係団体)が一堂に会し、コンベンション開催に関する情報や商談を行う、我が国唯一のコンベンション・トレードショーで、出展者数は90

団体、入場者数は約2,700人だった。

今回は、高松、徳島と協同でブース設営をし、「四国」を全面に押し出した中、松山ブースについては、「坂の上の雲」に関するパンフレットを始め、主要コンベンション施設・観光地等のパンフレットを使用し、主催者に松山の紹介をした。

また、地酒やタルトの提供、ミカンジュース、坊っちゃん団子等物産の紹介および配布を行い、来場者の注目を集めるとともにコンベンション誘致活動を積極的に行った。



(商談風景)



(ブース内)



(開会式)

ウ 中国・四国地区コンベンション推進協議会の事業

中国・四国地区のコンベンション推進団体13で構成する協議会であり、相互に交流し、事業の円滑な遂行を図ることを目的とし、年に1度、東京での誘致懇談会の開催や、国際ミーティング・エキスポにおける共同装飾などを実施している。

①中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日 平成23年6月9日(木)～10日(金)

会場 ホテルニュータナカ(山口)

出席者 12団体32名

②第17回中国・四国地区コンベンション誘致懇談会の開催

開催日 平成24年2月9日(木)

会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京

東京都港区赤坂1-12-33

主催 中国・四国地区コンベンション推進協議会

概要 コンベンション主催者約131名、会議企画会社等19名と中国・四国地区コンベンション推進協議会関係者63名の合計213名が一堂に会し、コンベンションに関する情報の交換を行い、中国・四国地区でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。



(ブース)



(抽選会)

エ 平成23年度コンベンション地元誘致懇談会

会 期 平成24年1月24日(火)

会 場 松山全日空ホテル

内 容 第一部 セミナー

講 師 株式会社情報伝達研究所 代表取締役 ^{わたなべ} ^{あつみ} 渡辺 厚 氏

演 題 「創客・創流の街づくり・街おこし～コンベンションによる
街の活性化」

第二部 ミニ展示会・情報交換会

概 要 賛助会員・コンベンション(学会、大会、会議等)主催者等約100名にご
参加いただき、セミナー及びミニ展示会・情報交換会を開催した。情報交換
会では賛助会員各社がブースを出展し、地元でも学会・大会の企画・運営の
サポートができることをPRし、コンベンション主催者からも大会開催に向
けての要望や問合せがあり、賛助会員にとっては、新たなビジネスチャンス
にも繋がった。



(セミナー)



(会場風景)



(抽選会)

オ 歓迎用看板・パネルの掲出

国際会議および全国規模(参加者1,000人以上が原則条件)のコンベンションを対
象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対
し当地の良いイメージを持っていただき、来松のリピーター効果を上げるために実施した。

掲出実績 松山空港ビル 9件(別紙参照)

カ 「松山シティガイド」(ようおいでたなもし)の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きMAPと文化観光施設等割引
入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数 30,000部

キ ナイロン製アームバッグの作成

コンベンション参加者の支援用として作成配布した。

作成枚数 50,000部

ク コンベンションガイド松山の提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数 約 500部

ケ 開催助成金の交付

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開
催されるコンベンションに対し、交付した。

交付件数 39件(平成22年度:44件)

交付総額 11,950,000円(平成22年度:18,240,000円)

(詳細は別紙資料4参照)

コ 支援を行った大会等

支援件数 136件(平成22年度:152件)
資料配付数 47,940部(平成22年度:70,084部)
看板掲出数 9件(平成22年度:14件)
(詳細は別紙資料4参照)

(2) 調査・研究事業

ア コンベンションビューロー部会

JCCB会員(7部会111会員)のうち、コンベンションビューローの会員(69団体)組織する部会で、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

①第1回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成23年5月19日(木)~5月20日(金)
会場 松山全日空ホテル(松山市)
出席者 36団体 72名

②第2回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成23年10月27日(木)~10月28日(金)
会場 萃香園ホテル(久留米市)
出席者 42団体60名

イ 平成23年度JCCB総会

開催日 平成23年6月20日(月)
会場 京王プラザホテル
内容 議案及び報告

ウ 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区のコンベンション推進5団体(高松、徳島、鳴門、高知、松山)で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

<第1回>

開催日 平成23年6月23日(木)
会場 高知サンライズホテル

<第2回>

開催日 平成23年10月14日(金)
会場 KH三番町プレイスビル

エ JNTO 個人相談会

開催日 平成23年9月5日(月)
会場 近畿運輸局

オ 四国インバウンド・フェア2011 ミニ商談会

開催日 平成23年9月6日(火)
会場 ホテル椿館

カ 第9回JNTOインバウンド旅行振興フォーラム

開催日 平成24年2月2日(木)~3日(金)
会場 品川プリンスホテルアネックスタワー・東京交通会館

キ 平成23年度コンベンションカレンダーの発行

平成23年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員並びに大

学関係者等に配布した。(発行部数：2,000部)

ク 平成22年度コンベンション統計の作成

平成22年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉 コンベンション客 1,132,631人
推定消費額 81億円

ケ アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

(3) 人材育成事業

コンベンションボランティア(会議時における受付・クローク、通訳等)に対し、研修会の開催および各種研修会の案内を行った。

ア コンベンションボランティア研修会の開催

日 時 平成24年2月29日(水)

場 所 伊予鉄会館

内 容 コンベンションボランティアの学習と交流を図った。

イ 各種研修会の案内

・韓国語入門講座の開催案内

(主催：松山商工会議所 他)

・英語入門講座の開催案内

(主催：愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会 他)

・中国語入門講座の開催案内

(主催：松山市 他)

(4) インバウンド関係事業

ア 台湾招聘事業

・旅番組撮影招聘

日時 平成23年9月28日(水)～10月8日(土)

・ドラマロケ招聘

下見日時 平成23年8月13日(土)～8月19日(金)

撮影日時 平成24年2月23日(木)～3月19日(月)

イ 韓国インバウンド事業

日時 平成23年7月12日(火)

ウ 青島招聘事業

日時 平成23年9月26日(月)～10月1日(土)

エ 南京・上海教育旅行誘致事業

・現地セミナー開催事業

日時 平成23年10月24日(月)～10月28日(金)

・南京教育旅行誘致事業

日時 平成24年2月26日(木)～3月2日(水)

・上海教育旅行誘致事業

日時 平成24年3月12日(月)～3月16日(金)



6. 事務管理

(1) 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

(2) 松山城自動販売機運営費

設置業者 大塚製薬(株)・四国乳業(株)・四国コカ・コーラボトリング(株)
売上本数 24,612本

(3) 新規会員の確保

新規加入 13件
会 員 392件(3月31日現在)

(4) 会 議

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（総務委員会・企画委員会
誘致宣伝委員会・物産委員会）を必要に応じ適宜開催した。

ア 理事会

・内容については別紙資料1

- ①期 日 平成23年6月15日(水)
場 所 伊予鉄会館
- ②期 日 平成23年11月25日(金)
場 所 国際ホテル松山
- ③期 日 平成24年3月26日(月)
場 所 松山全日空ホテル

イ 評議員会

・内容については別紙資料1

- ①期 日 平成23年6月15日(水)
場 所 伊予鉄会館
- ②期 日 平成23年11月25日(金)
場 所 国際ホテル松山
- ③期 日 平成24年3月26日(月)
場 所 松山全日空ホテル

ウ 各専門委員会

・内容については別紙資料2

【総務委員会】

期 日 平成23年9月15日(木)
場 所 松山市総合コミュニティセンター 2階 第1会議室

【企画委員会】

期 日 平成23年9月15日(木)
場 所 松山市総合コミュニティセンター 2階 第1会議室

【誘致宣伝委員会】

期 日 平成 23 年 9 月 7 日 (水)
場 所 KH 三番町プレイスビル 3 階 第 2 会議室

【物産委員会】

期 日 平成 23 年 6 月 24 日 (金)
場 所 KH 三番町プレイスビル 3 階 第 1 会議室

(5) 調査研究事業

講師を招聘し講演会を行った

日 時 平成 24 年 3 月 26 日 (月) 16:00~17:30
場 所 松山全日空ホテル 4 F ダイヤモンドボールルーム
演 題 「伊佐庭如矢の 4 つの功績と
まちづくり戦略」
講 師 伊予史談会 監事 にかみ すすむ 二神 将 様
参加者 約 100 名



7. 共催・協賛事業

①第 4 1 回奥道後阜月展

期 日 平成 23 年 5 月 14 日 (土) ~6 月 5 日 (日)
主 催 愛媛阜月協会

②第 9 回 J A B A 子規記念杯野球大会

期 日 平成 23 年 5 月 14 日 (土) ~5 月 15 日 (日)
主 催 愛媛県野球連盟

③第 6 1 回松山港まつり・三津浜花火大会 (協賛事業)

期 日 平成 23 年 8 月 7 日 (日)
主 催 松山港まつり振興会

④松山城夏まつりイベント「光の城」真夏のタペコンサート (共催事業)

期 日 平成 23 年 8 月 13 日 (土)
主 催 松山市、伊予鉄道 (株) 松山城総合事務所

⑤ いもたき事業 (共催事業)

・ 出合橋下河川敷

期 日 平成 23 年 9 月 1 日 (木) ~10 月 10 日 (月)
主 催 観光松山いも炊き会・(財)松山観光コンベンション協会
参加者 5,788 名

⑥「松山を楽しもう~城山公園オータムフェスティバル 2011」(共催事業)

期 日 平成 23 年 9 月 9 日 (金) ~平成 24 年 1 月 3 日 (火)
主 催 城山公園オータムフェスティバル 2011 実行委員会

⑦プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム 2011 (共催事業)

期 日 平成 23 年 9 月 21 日 (水) ~23 日 (金)
主 催 プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム実行委員会

⑧第43回奥道後大菊花展

期 日 平成23年10月22日(土)～11月27日(日)
主 催 西日本菊花芸術協会

⑨第1回小野スポーツ交流 中学校女子バレーボール大会(協賛事業)

期 日 平成23年11月12日(土)～11月13日(日)
主 催 小野スポーツ交流実行委員会

⑩坊っちゃん一緒にらんランRUN大会

期 日 平成23年11月27日(日)
主 催 坊っちゃんランランラン大会実行委員会

⑪松山城「初日の出」イベント(共催事業)

期 日 平成24年1月1日(土)
主 催 松山市、伊予鉄道(株)松山城総合事務所

⑫第50回愛媛マラソン

期 日 平成24年2月4日(土)～5日(日)
主 催 愛媛陸上競技会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

⑬愛媛調理製菓専門学校「料理作品展2012」(協賛事業)

期 日 平成24年2月5日(日)
主 催 愛媛調理製菓専門学校

⑭第43回広告美術コンクール

期 日 平成24年2月18日(土)
主 催 四国広告美術組合連合

⑮坊っちゃんカップ・第5回道後温泉卓球大会(共催事業)

期 日 平成24年2月21日(火)～23日(木)
主 催 財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

8. その他

(1) 東京ヤクルトスワローズ松山協力会の運営



(2) ドラマ「アリスへの奇蹟」ロケ誘致および撮影サポート

台湾誘客事業として、台湾のアイドルが主演するドラマを誘致。平成24年3月6日(月)～3月17日(土)まで、松山を中心に愛媛県内各地でロケを実施した。

このドラマは、台湾ほかシンガポール、香港、中国など5か国で放送され、日本でも放送が決定しており、今後の効果が期待される。

<3月6日>道後温泉周辺 <3月7日>しまなみ海道 <3月8日>内子&大洲



<3月9日&3月10日>松山(ホテル奥道後)



<3月11日>大洲&松山空港&道後温泉



<3月12日>記者会見&松山城





<3月13日>坂の上の雲ミュージアム&内子

<3月14日>内子



<3月15日>葬儀社&県立医療技術大学



<3月16日>内子座

<3月17日>三津の渡し&民家



短促期間，但能將身紅費上合額全何間何領會 方賞，也因此劇節）她原不意地由前製圖的必
要被關注，希望藉此片喚起觀眾對肢障者的關 頭，為了小寫她還要再繼續演戲。

給愛麗絲的奇蹟 日本取景 炎亞綸招供喇舌 Lara不認帳



記者吳志偉 / 日本報導
炎亞綸、修杰楷、「Lara」梁心
頤、周采詩、楊貴媚、加賀美智久
等拍攝瓊瑤製作偶像劇「給愛麗絲
的奇蹟」，日前移腳到日本愛媛縣
松山市取景，昨天在劇中的觀光景
點道後溫泉舉辦記者會。炎亞綸
劇中與Lara有多場親密戲，他還自
爆拍吻戲時太投入，忍不住「喇
舌」，反倒Lara不認帳，當場被虧
有「選擇性失憶」。



炎亞綸搶巴掌 Lara下真手
Lara自2006年演出「愛情經紀
約」後，相隔5年才接第2部戲，戲
中她與炎亞綸有不少親密戲，全
靠炎亞綸主動，她說：「還好他
很熱情，所以沒問題。」戲中2人
吻得激情，又親又打，炎亞綸炎
亞綸還自曝拍第一場吻戲時，苦
頭有「那攻」，但Lara覺得，本劇
「順舌」，炎亞綸虧她「選擇性失
憶」，還說自己生平第一次被呼巴
掌，也是Lara下的重手。

周采詩醉酒 學鴨噪說話
修杰楷平時健身有成，壯碩肌肉
被炎亞綸形容：「手臂肌肉跟臉一
樣大。」他還大讚修酒量好，只是
喝多話也多；他自己笑說，想改
掉一喝醉就亂親人的習慣；周采詩
自曝喝了酒會學鴨噪說話；Lara最
妙，常在朋友家喝醉了，就會在對
方家洗臉兼打掃，讓眾人搶著要約
她回家喝一杯。

◎「給愛麗絲的奇蹟」昨在日本松山市舉行記者會，周采詩（右起）、炎亞綸、楊貴媚、修杰楷、Lara、加賀美智久。（記者吳志偉攝）

収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,830,000	1,994,112	835,888
基本財産利息収入	2,830,000	1,994,112	835,888
会費収入	13,300,000	12,420,000	880,000
賛助会員会費収入	13,300,000	12,420,000	880,000
事業収入	7,420,000	7,433,325	△ 13,325
手数料収入	2,940,000	2,983,799	△ 43,799
物産収入	2,860,000	2,231,726	628,274
出品料収入	460,000	450,000	10,000
広告料収入	1,160,000	1,767,800	△ 607,800
補助金等収入	182,371,000	182,371,000	0
補助金等収入	182,371,000	182,371,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
雑収入	2,226,000	2,564,252	△ 338,252
受取利息収入	15,000	15,367	△ 367
雑収入	2,211,000	2,548,885	△ 337,885
事業活動収入計	209,147,000	207,782,689	1,364,311
2. 事業活動支出			
観光振興事業費支出	65,415,000	56,672,305	8,742,695
会議費支出	1,040,971	1,040,971	0
旅費交通費支出	22,079,085	22,079,085	0
通信運搬費支出	4,320,000	4,128,544	191,456
消耗品費支出	1,125,000	814,255	310,745
印刷製本費支出	3,588,000	3,438,450	149,550
諸謝金支出	856,869	856,869	0
記念品費支出	1,198,000	575,785	622,215
報償費支出	600,000	600,000	0
委託費支出	3,580,376	3,580,376	0
負担金支出	1,020,000	1,020,000	0
広告宣伝費支出	7,834,185	7,711,425	122,760
賃借料支出	1,971,124	1,954,600	16,524
保険料支出	102,390	102,390	0
助成金支出	15,954,000	8,639,200	7,314,800
雑支出	145,000	130,355	14,645
受入事業費支出	18,992,000	16,156,292	2,835,708
会議費支出	150,000	22,200	127,800
通信運搬費支出	651,000	383,771	267,229
什器備品費支出	157,000	142,550	14,450
消耗品費支出	1,243,000	1,181,484	61,516
印刷製本費支出	618,000	299,880	318,120
諸謝金支出	4,213,000	3,504,222	708,778
委託費支出	10,379,000	9,151,501	1,227,499
負担金支出	620,000	602,377	17,623
賃借料支出	740,000	739,380	620
修繕費支出	40,000	3,150	36,850
保険料支出	113,000	93,100	19,900
光熱水料費支出	38,000	32,677	5,323
雑支出	30,000	0	30,000

科 目	予算額	決算額	差 異
物 産 事 業 費 支 出	29,534,000	21,205,677	8,328,323
会 議 費 支 出	1,750,000	223,175	1,526,825
旅 費 交 通 費 支 出	5,456,824	4,183,416	1,273,408
通 信 運 搬 費 支 出	4,034,200	2,978,110	1,056,090
消 耗 品 費 支 出	2,737,090	2,737,090	0
諸 謝 金 支 出	1,410,000	1,084,747	325,253
記 念 品 費 支 出	4,519,660	4,519,660	0
委 託 費 支 出	7,103,910	3,003,000	4,100,910
賃 借 料 支 出	1,479,156	1,479,156	0
修 繕 費 支 出	700,000	700,000	0
保 險 料 支 出	185,160	185,160	0
光 熱 水 料 費 支 出	38,000	28,967	9,033
雑 支 出	120,000	83,196	36,804
コ ン ベ ン シ ョ ン 事 業 費 支 出	36,513,000	29,701,201	6,811,799
会 議 費 支 出	2,272,138	1,997,094	275,044
旅 費 交 通 費 支 出	6,892,709	6,892,709	0
通 信 運 搬 費 支 出	489,000	261,582	227,418
消 耗 品 費 支 出	2,365,000	1,907,505	457,495
印 刷 製 本 費 支 出	2,771,270	2,619,750	151,520
諸 謝 金 支 出	1,668,862	1,094,335	574,527
委 託 費 支 出	1,420,930	1,420,930	0
負 担 金 支 出	1,802,000	1,460,768	341,232
賃 借 料 支 出	164,000	44,350	119,650
保 險 料 支 出	22,540	22,540	0
助 成 金 支 出	16,579,091	11,950,000	4,629,091
雑 支 出	65,460	29,638	35,822
管 理 費 支 出	70,193,000	67,023,985	3,169,015
給 料 手 当 支 出	42,000,000	41,324,900	675,100
福 利 厚 生 費 支 出	11,418,000	10,789,823	628,177
臨 時 雇 賃 金 支 出	4,499,000	4,033,563	465,437
会 議 費 支 出	406,326	406,326	0
旅 費 交 通 費 支 出	66,000	0	66,000
交 際 費 支 出	51,000	0	51,000
通 信 運 搬 費 支 出	2,034,000	1,824,470	209,530
手 数 料 支 出	350,000	350,000	0
消 耗 品 費 支 出	1,591,411	1,591,411	0
印 刷 製 本 費 支 出	525,000	479,850	45,150
諸 謝 金 支 出	99,800	99,800	0
委 託 費 支 出	2,809,590	2,809,590	0
負 担 金 支 出	1,730,841	1,099,000	631,841
賃 借 料 支 出	972,978	972,978	0
修 繕 費 支 出	70,000	52,219	17,781
保 險 料 支 出	57,990	57,990	0
燃 料 費 支 出	201,280	201,280	0
光 熱 水 料 費 支 出	581,074	484,554	96,520
租 税 公 課 支 出	98,800	34,100	64,700
調 査 研 究 費 支 出	494,674	276,895	217,779
雑 支 出	135,236	135,236	0
事業活動支出計	220,647,000	190,759,460	29,887,540
事業活動収支差額	△ 11,500,000	17,023,229	△ 28,523,229

科 目	予算額	決算額	差 異
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	100,000,000	△ 100,000,000
投資有価証券売却収入	0	100,000,000	△ 100,000,000
投資活動収入計	0	100,000,000	△ 100,000,000
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	0	100,180,000	△ 100,180,000
定期預金支出	0	100,180,000	△ 100,180,000
投資活動支出計	0	100,180,000	△ 100,180,000
投資活動収支差額	0	△ 180,000	180,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	500,000	-----	500,000
当期収支差額	△ 12,000,000	16,843,229	△ 28,843,229
前期繰越収支差額	0	16,237,574	△ 16,237,574
次期繰越収支差額	△ 12,000,000	33,080,803	△ 45,080,803

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	[1,976,112]	[2,593,465]	[Δ 617,353]
基本財産利息収入	1,976,112	2,593,465	Δ 617,353
会費収入	[12,420,000]	[12,740,000]	[Δ 320,000]
賛助会員会費収入	12,420,000	12,740,000	Δ 320,000
事業収入	[7,433,325]	[6,974,086]	[459,239]
手数料収入	2,983,799	2,676,130	307,669
物産収入	2,231,726	2,825,156	Δ 593,430
出品料収入	450,000	450,000	0
広告料収入	1,767,800	1,022,800	745,000
補助金等収入	[182,371,000]	[180,810,000]	[1,561,000]
補助金等収入	182,371,000	180,810,000	1,561,000
負担金収入	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
雑収入	[2,564,252]	[2,136,703]	[427,549]
受取利息収入	15,367	14,080	1,287
雑収入	2,548,885	2,122,623	426,262
経常収益計	207,764,689	206,254,254	1,510,435
(2) 経常費用			
観光振興事業費	[56,672,305]	[43,328,301]	[13,344,004]
会費	1,040,971	1,014,583	26,388
旅費	22,079,085	1,186,230	20,892,855
通信運搬費	4,128,544	664,221	3,464,323
消耗品費	814,255	3,058,681	Δ 2,244,426
印刷製本費	3,438,450	4,008,120	Δ 569,670
諸謝金費	856,869	732,991	123,878
記念品費	575,785	5,977,015	Δ 5,401,230
諸報償託費	600,000	600,000	0
委員会負担金支出	3,580,376	3,750,433	Δ 170,057
広告宣伝費	1,020,000	681,500	338,500
貸借料	7,711,425	8,349,900	Δ 638,475
保険料	1,954,600	1,595,560	359,040
助成金支出	102,390	90,000	12,390
雑費	8,639,200	11,537,400	Δ 2,898,200
受入事業費	130,355	81,667	48,688
会費	[16,156,292]	[15,841,012]	[315,280]
旅費	22,200	37,900	Δ 15,700
通信運搬費	0	2,200	Δ 2,200
什器備品費	383,771	492,326	Δ 108,555
消耗品費	142,550	0	142,550
印刷製本費	1,181,484	1,225,516	Δ 44,032
諸謝金費	299,880	299,250	630
諸報償託金支出	3,504,222	3,146,222	358,000
委員会負担金支出	9,151,501	8,852,500	299,001
貸借料	602,377	534,206	68,171
修繕費	739,380	619,380	120,000
保険料	3,150	493,975	Δ 490,825
光熱水料費	93,100	104,860	Δ 11,760
	32,677	32,677	0

科 目	当年度	前年度	増 減
物 産 事 業 費	[21,205,677]	[33,585,418]	[△ 12,379,741]
会 議 費	223,175	1,396,094	△ 1,172,919
旅 費 交 通 費	4,183,416	5,944,200	△ 1,760,784
通 信 運 搬 費	2,978,110	6,854,953	△ 3,876,843
消 耗 品 費	2,737,090	3,464,335	△ 727,245
諸 謝 金 費	1,084,747	1,436,515	△ 351,768
記 念 品 費	4,519,660	5,573,335	△ 1,053,675
委 託 借 料 費	3,003,000	8,163,150	△ 5,160,150
賃 借 繕 費 料	1,479,156	531,636	947,520
修 繕 費 料	700,000	0	700,000
保 險 料	185,160	62,410	122,750
光 熱 水 料 費	28,967	28,967	0
雑 費	83,196	129,823	△ 46,627
コ ン ベ ン シ ョ ン 事 業 費	[29,701,201]	[35,597,401]	[△ 5,896,200]
会 議 費	1,997,094	977,229	1,019,865
旅 費 交 通 費	6,892,709	6,458,991	433,718
通 信 運 搬 費	261,582	234,202	27,380
什 器 備 品 費	0	187,950	△ 187,950
消 耗 品 費	1,907,505	2,379,605	△ 472,100
印 刷 製 本 費	2,619,750	3,503,850	△ 884,100
諸 謝 託 金 費	1,094,335	1,404,021	△ 309,686
委 託 金 支 出	1,420,930	631,759	789,171
負 担 金 支 出	1,460,768	1,448,533	12,235
賃 借 料 料	44,350	99,900	△ 55,550
保 險 料 料	22,540	11,270	11,270
助 成 金 支 出	11,950,000	18,240,000	△ 6,290,000
雑 費	29,638	20,091	9,547
管 理 費	[67,023,985]	[78,429,520]	[△ 11,405,535]
給 料 手 当 費	41,324,900	56,082,838	△ 14,757,938
福 利 厚 生 費	10,789,823	10,375,096	414,727
臨 時 雇 賃 金	4,033,563	2,203,077	1,830,486
会 議 費	406,326	184,584	221,742
通 信 運 搬 費	1,824,470	1,742,022	82,448
手 数 料	350,000	0	350,000
消 耗 品 費	1,591,411	1,254,974	336,437
印 刷 製 本 費	479,850	499,800	△ 19,950
諸 謝 託 金 費	99,800	33,333	66,467
委 託 金 支 出	2,809,590	1,170,330	1,639,260
負 担 金 支 出	1,099,000	2,492,244	△ 1,393,244
賃 借 料 料	972,978	1,257,555	△ 284,577
修 繕 費 料	52,219	115,229	△ 63,010
保 險 料	57,990	54,680	3,310
燃 料 費	201,280	58,674	142,606
光 熱 水 料 費	484,554	476,079	8,475
租 税 公 課	34,100	36,600	△ 2,500
調 査 研 究 費	276,895	390,080	△ 113,185
雑 費	135,236	2,325	132,911
經常費用計	190,759,460	206,781,652	△ 16,022,192
評価損益等調整前当期經常増減額	17,005,229	△ 527,398	17,532,627
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	17,005,229	△ 527,398	17,532,627

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
減 価 償 却 費	[31,778]	[42,371]	[△ 10,593]
什 器 備 品 減 価 償 却 費	31,778	42,371	△ 10,593
経常外費用計	31,778	42,371	△ 10,593
当期経常外増減額	△ 31,778	△ 42,371	10,593
当期一般正味財産増減額	16,973,451	△ 569,769	17,543,220
一般正味財産期首残高	537,352,656	537,922,425	△ 569,769
一般正味財産期末残高	554,326,107	537,352,656	16,973,451
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	554,326,107	537,352,656	16,973,451

貸借対照表

平成24年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	42,942,251	29,033,335	13,908,916
未 収 金	44,273,385	38,575,691	5,697,694
流動資産合計	87,215,636	67,609,026	19,606,610
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基 財 ・ 預 金 債 権	321,000,000	420,820,000	△ 99,820,000
投 資 有 価 証 券	200,000,000	100,018,000	99,982,000
基本財産合計	521,000,000	520,838,000	162,000
(2) 特定資産			
退 職 給 与 引 当 預 金	3,553,761	3,553,761	0
特定資産合計	3,553,761	3,553,761	0
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	95,336	127,114	△ 31,778
電 話 加 入 権	149,968	149,968	0
その他固定資産合計	245,304	277,082	△ 31,778
固定資産合計	524,799,065	524,668,843	130,222
資産合計	612,014,701	592,277,869	19,736,832
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	54,134,833	51,371,452	2,763,381
流動負債合計	54,134,833	51,371,452	2,763,381
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	3,553,761	3,553,761	0
固定負債合計	3,553,761	3,553,761	0
負債合計	57,688,594	54,925,213	2,763,381
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産)	554,326,107 (521,000,000)	537,352,656 (520,838,000)	16,973,451 (162,000)
正味財産合計	554,326,107	537,352,656	16,973,451
負債及び正味財産合計	612,014,701	592,277,869	19,736,832

財産目録

平成24年年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	つり銭	130,000
	預金	普通預金		42,812,251
		普通(伊予銀行)		25,491,111
		普通(愛媛銀行)		7,631,986
		普通(愛媛信用金庫)		6,323,325
		普通(県信漁)		419,407
		普通(県信連)		694,216
		普通(預り金)伊予銀行松山市役所支店		341,803
		普通(書籍)松山市役所支店		578,870
		普通(道後案内所)		265,404
		普通(メダル)		1,030,381
		普通(物産)		35,748
	未収金			44,273,385
	会費収入			10,000
	手数料収入			94,990
	物産収入			44,025,473
	雑収入			142,922
流動資産合計				87,215,636
(固定資産)				
基本財産	基財・預金債権			321,000,000
	定期(伊予銀行)			10,000,000
	定期(愛媛銀行)			100,000,000
	定期(愛媛信用金庫)			56,000,000
	定期(県信漁)			10,000,000
	定期(伊予銀)			145,000,000
	投資有価証券			200,000,000
	有価(伊予銀行)			200,000,000
特定資産	退職給与引当預金			3,553,761
	伊予銀行(普通)			3,553,761
その他固定資産	什器備品			95,336
	電話加入権			149,968
固定資産合計				524,799,065
資産合計				612,014,701
(流動負債)				
	未払金			54,134,833
流動負債合計				54,134,833
(固定負債)				
	退職給付引当金			3,553,761
固定負債合計				3,553,761
負債合計				57,688,594
正味財産				554,326,107

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権について、償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

(3)リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 資金の範囲について

資金の範囲には現金・預金・未収金・未払金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記6に記載するとおりである。

3. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金 及び 国債 (資本金)	520,838,000	180,000	18,000	521,000,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
松山城ロープウェイ駅舎 物産陳列ケース	547,050	31,778	451,714	95,336

5. 退職給与引当預金の内容は次のとおりである

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給与引当預金	3,553,761	0	0	3,553,761

6. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	29,033,335	42,942,251
未 収 金	38,575,691	44,273,385
合 計	67,609,026	87,215,636
未 払 金	51,371,452	54,134,833
預 り 金	0	0
合 計	51,371,452	54,134,833
次期繰越収支差額	16,237,574	33,080,803

7. 未収金、未払金の内容は、次頁の未収金・未払金調書のとおりである。